愛知県感染症情報

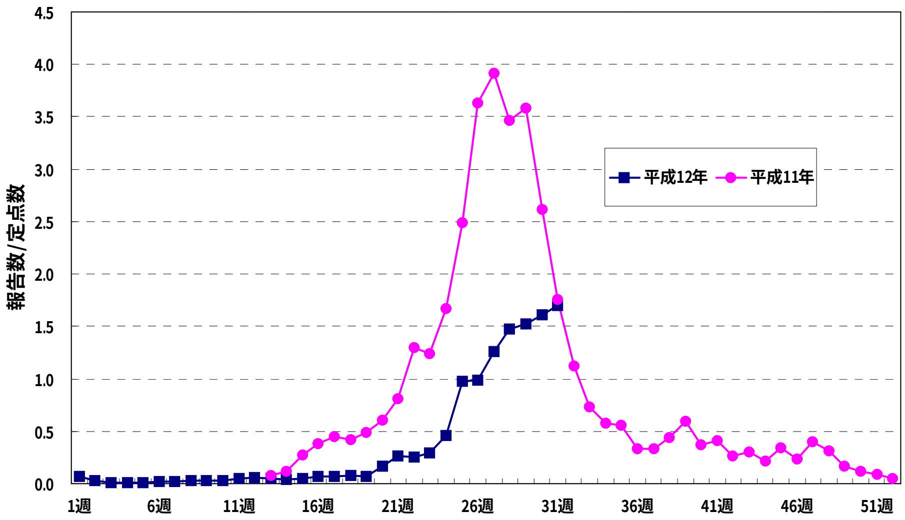
平成 12 年第 31 週（8 月第 1 週）

（コメント）

手足口病が依然として流行中です。

ヘルパンギーナの流行は終息に向かっています。

先生方からのコメントに、サルモネラの事例が目立ちますので注意してください。



手足口病（名古屋市を含む。平成11年は、13週（4月1日～）から）

（先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

・ サルモネラ O-4 群　４歳男

（一宮市　あさのこどもクリニック）

・ 感染性腸炎　　病原性大腸菌性腸炎

O-15　１歳女

O-164　２５歳女

カンピロバクター腸炎　５歳男

ロタウイルス腸炎　６ヶ月半男

マイコプラズマ肺炎３名　（２歳男、２歳女、３歳男）

ムンプス　女１名

（尾西市　城後小児科）

・ 発熱、頭痛、嘔吐などの髄膜炎症状のある子供さんが少し見られています。

（江南市　みやぐちこどもクリニック）

・ ヘルパンギーナなし　ムンプス、水痘続発中

（岩倉市　医療法人なかよしこどもクリニック）

・ カンピロバクター 2名（２４歳男、９歳女）

（師勝町　師勝クリニック）

● 尾張東部地区

・ ヘルパンギーナは激減です。

手足口病が少し目立っています（発熱を伴う例多し）

突発性発疹、流行性耳下腺炎続発中

（尾張旭市　佐伯小児科医院）

・ 流行性耳下腺炎多く、１０例中ワクチン接種者１例（８歳女）

（瀬戸市　津田こどもクリニック）

・ 1歳男児サルモネラ菌Ⅱ（＋）の感染性腸炎がありました。今夏サルモネラ陽性例は2例目です。

（春日井市 かちがわ北病院）

● 西三河地区

・ 百日咳 １歳男　ＤＰＴ（三種混合）（未）

サルモネラＳＰ　３８歳女

（豊田市　やふそ小児科）

・ 病原性大腸菌 O-128 １歳男

（豊田市　星ヶ丘たなかこどもクリニック）

・ カンピロバクター　６歳男

サルモネラ O-4　９歳女

エルシニア＊　２歳男

（岡崎市　花田こどもクリニック）

＊エルシニア：腸内細菌科に属し、食中毒や下痢症の原因菌の一つである。

・ サルモネラ O-4　４歳女

（岡崎市　にいのみ小児科）

・ カンピロバクター　６歳男

（岡崎市　医療法人川島小児科水野医院）

・ サルモネラ O-9　１歳男、O-4　２歳女

手足口病多い

（幸田町　とみた小児科）

・ サルモネラ O-4　6歳女

（西尾市　やすい小児科）

● 東三河地区

・ サルモネラO-9　３人（４歳及び２歳女）
手足口病が流行している保育園があります。
（豊橋市　こどもの国大谷小児科）

・ 今週になり、手足口病が増加。２～３の施設で流行。口内疹が目立つも状態はよい。
（田原町　かわせ小児科）

（1～3類感染症の発生状況）

●腸管出血性大腸菌感染症患者２名

・ 豊橋市保健所から報告の57歳女　7/25発病、7/27初診、7/31診定。菌型は、O-157　VT1・VT2（＋）

・ 津島保健所から報告の１歳女　7/25発病、7/26初診、8/4診定。菌型は、O-157　VT2（＋）

（全数把握の４類感染症の発生状況）
発生はありません

◆第30週（7月24日～7月30日）の４類感染症の全国状況

咽頭結膜熱は例年の同時期にくらべ定点当たり報告数がかなり多くなっており、第30週としては過去10年間で最大となっている（定点当たり報告数0.4）。特に定点当たり報告数が多くなっているのは、和歌山県（3.6）と香川県（2.2）である。手足口病の定点当たり報告数は、例年の同時期よりやや多くなっているが、第28週の定点当たり報告数5.8をピークに減少傾向にある。定点当たり報告数が多いのは、山形県（14.6）、大分県（9.7）、兵庫県（9.2）、奈良県（9.1）などとなっている。ヘルパンギーナは過去10年間で最大の流行となったが、第28週の定点当たり6.0をピークに減少傾向にある。定点当たりの患者報告数が10を超えているのは宮城、新潟の2県のみである。麻疹の患者報告数は依然大阪で多い。流行性耳下腺炎は熊本県で定点当たり3.1の報告がある。流行性角結膜炎は佐賀県で4.3、東京都で3.6、茨城県で3.5、愛媛県で3.3と定点当たり報告数が多くなっている。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋
厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報）